
運命的なる出会い

中木寸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命的な出会い

【NZコード】

N3795D

【作者名】

中木寸

【あらすじ】

ふとした偶然から彼女と出会った僕。その彼女は、素晴らしい人だった。

(前書き)

執筆能力が低いので感動できないかもしれません、詳しく調べると感動するかもしれません。

いろんな番組で「地球温暖化」やら何やらの地球環境に関する問題が出てくる。それを見た時、僕はある女の子を思い出す。彼女が伝えたかったものは今の地球に伝わっているだろうか？彼女ほど地球環境を訴えたものを僕は知らない。その「時代」もあつただろう。ただ、もう一度伝えられる。彼女に、今の地球を見てほしい・・・。

小学6年生の時だった。その時、僕たちのクラスは道徳をやつていた。しかし僕は先生の話を聞かず教科書の別のところを読んでいた。その時だ。「坪田愛華」つばたあいか運命的な出会い、そう言つていいだろ。彼女は当時で14年前・・・現在では17年前の1991年、（当時の）僕らと同じ小学6年生ながらに漫画を描いた。国語の課題で、環境問題の調査を児童たちに提出させた。1991年12月25日、彼女の手許に1冊の漫画が完成した。「地球の秘密」しかし26日午前1時、就寝中に体調が急変した。1991年12月27日、結局「地球の秘密」は先生に出されことなく、その作者は12歳で逝つた。その漫画は「地球の環境を守る子供たちにとつての教科書」といわれる。

中学2年生になつた今、ときどき思つ。愛華ちゃんが今の地球を見たら何と言つだろ？愛華さんは29歳になつてるだろ。それを思つと、草葉の影で悔やんできることだろ。ただこれだけは言いたい「君に逢わなければ、今の環境問題も何も思わず見ていたよ！」

(後書き)

分かつてゐると思いますが、これは実話です。

関連ページ：<http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E5%99%C0B0%E7%90%83%E3%81%86>

(wikipedia : 地球の秘密)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3795d/>

運命的なる出会い

2011年1月27日01時19分発行